教育学演習Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-301
必修　　2単位

田﨑　教子

1. 授業の概要（ねらい）

　個々のもつ音楽的知識と演奏技能の向上を図るため、音楽分野におけるスペシャリストを招き、音楽の実践者としてのノウハウを学ぶ。それらの知識と技能を充分に生かした音楽プログラムを考案し、実施する。幼児・児童を主な対象者とし鑑賞型と参加型の両方を包含した音楽プログラムを企画し実施する。
　また、この活動を通した実践研究や、個々の興味・関心に基づいたテーマを探求し、その成果を発表し論文にまとめる。

2. 授業の到達目標

　アクティブな集団の音楽活動の中で、音楽の本質的な特徴や効果等を体感し、様々な現場での音楽活動のあり方について、理論的・実践的理解を深める。
　研究テーマの設定、研究の方法、研究の内容等を吟味しながら資料を作成し、研究発表等を通して音楽に対する多角的な見方・考え方を養う。

3. 成績評価の方法および基準

①演奏実技 60%
②研究発表・提出物 30%
③確認テスト 10%
これらを基に総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
田﨑教子　音楽的活動における保育者の発信的・応答的能力の向上ークリニカル・ミュージシャンシップ援用の可能性ー　風間書房
石井一成　大学生のためのレポート・論文の書き方　ナツメ社
後藤芳文・伊藤史織　学びの技　　玉川出版部

5. 準備学修の内容

・個々の音楽的知識・演奏技能の向上を目指し、日々の努力を怠らないこと。
・演奏会実施に向けての話し合い、練習、準備、本番すべてにわたり、積極的に活動に参加すること。
・個々の研究テーマに沿って情報収集を行い、研究を計画的に進めること。

6. その他履修上の注意事項

・集団による音楽活動では、協調性をもって臨み、個々の役割に責任をもつこと。
・テーマに沿った研究は、個々の独自性を発揮して質の高い研究になるよう努力すること。

7. 授業内容

【第1回】　演奏披露発表会　対面授業
【第2回】　プログラムの検討①　対面授業
【第3回】　研究に関する確認テスト　対面授業
【第4回】　プログラムの検討②　対面授業
【第5回】　ゲストティーチャーによる講義と実践　対面授業
【第6回】　ゲストティーチャーによる講義と実践に対する振り返り　オンライン授業
【第7回】　プログラムの準備①　対面授業
【第8回】　プログラムの準備②　対面授業
【第9回】　プログラムの練習①　対面授業
【第10回】　プログラムの練習②　対面授業
【第11回】　プログラムの練習③　対面授業
【第12回】　プログラムの練習④　対面授業
【第13回】　研究テーマに基づく中間発表①　対面授業
【第14回】　研究テーマに基づく中間発表②　対面授業
【第15回】　演奏発表・研究のまとめ　対面授業